

丸善ジュンク堂書店のスタッフが選ぶ

夏50冊

なつの文庫 2026

書店スタッフおすすめ！夏に読みたい文庫フェア

フェア期間 / 2026年6月20日(土)～8月31日(月)

丸善ジュンク堂書店では毎年恒例の「夏の文庫」オリジナルフェア。それぞれのスタッフがおすすめする、個性あふれる作品の数々をお楽しみください。

※フェア期間は、終了日が異なる店舗があります。詳しくはご利用店舗にご確認ください。

※「夏文庫」定番3社(新潮文庫・集英社文庫・角川文庫)のラインナップ外からピックアップしてご紹介しております。

※店舗の在庫状況によっては売り切れている場合がございます。予めご了承ください。

※カバーは店頭商品と異なる場合がございます。

 **MARUZEN**

ジュンク堂書店
JUNKUDO

函館栄好堂

戸田書店

アルジャーノンに花束を 新版

D.キイス / 早川書房

10代でこの本に出会えた人は幸福だと思う。20代であろうと、30代であろうと、それ以上であろうと、この本を読んでいない人にこそ読んでほしい。そして、考えてほしい。人生において、幸福であるということは、ということなのだろうか、と。その答えはきっと、その後の人生を変えられると思う。

(ジュンク堂書店 名古屋店 / 文庫担当 / K)

パイド・パイパー

ネビル・シュート / 東京創元社

夏の休暇先で戦争に巻き込まれた老紳士が、託された子どもたちと母国イギリスを目指す。戦時下で危険な状況に加えて、子どもたちはままならない。そして増えていく……。老骨に鞭打ちながら子どもたちを導く姿はボロボロだが、とても格好いいのである。

(ジュンク堂書店 池袋本店 / 文庫・新書担当 / ゲソ天そば)

湿地

アーナルデュル・インドリダソン / 東京創元社

決して派手な展開で進んでいく物語ではないのですが、読み進めるうちにとにかく先が気になって、気がつくと読了。まさにジェットコースターミステリーです。それぞれの背景がかなり描き込まれていて、誰もが悲しみを背負い込んでいて、そして誰もが怪しい。舞台となるアイルランド特有の動機にも注目です。あっつい夏に遠い国のどっぷり謎解き、いかがでしょう？

(丸善 ラゾーナ川崎店 / 文芸担当 / む)

三体

劉 慈欣 / 早川書房

この夏は『三体』を読んでない人生から卒業しちゃいましょ!だって『三体』って、宇宙であり、地球であり、人生であり、生活である。つまりすべてなんですよ。読んだ後はきっと人生変わるはず。(変え方はまかせる!)

(ジュンク堂書店 秋田店 / 文庫新書、文芸書担当 / T35号)

クラインの壺

岡嶋 二人 / 講談社

初めてミステリーと言われる作品を読んだのがコレ。ヴァーチャル・リアリティという言葉に理解が及んでいなかった1989年刊行の作品。最後の最後におとずれる浮遊感が忘れられない。

(丸善 京都本店 / 店長 / Y.H.)

叙述トリック短編集

似鳥 鶏 / 講談社

叙述トリックとは「小説の文章そのものの書き方で読者を騙すタイプのトリック」(「読者への挑戦状」より)である。タイトルに堂々と「叙述トリック」を謳っているということは、読む側も「この文章のどこかにトリックがある」と疑いながら読むのである。ネタバレでは?もちろん大丈夫なので安心して読み進めてほしい。最後の1ページまで楽しめる!

(ジュンク堂書店 三宮店 / 文庫・新書担当 / 文庫へのろく)

今はもうない

森 博嗣 / 講談社

7月、山奥の別荘、密室、そして恋。夏読にうってつけの傑作ミステリだが、ひとつ問題が。本書はシリーズ長編8作目かつ、理由あって「ここから読んでも大丈夫」とは言い難いのだ。でも是非読んでほしい。よって今夏、シリーズ全巻お読み頂く他、もうない。

(丸善 津田沼店 / 店長 / M)

猫を処方いたします。

石田 祥 / PHP研究所

「猫は栄養」というCMもあるように、このお薬は心が疲れたとき、トゲトゲするとき、重く沈んだときによく効きます。ただ一部の人には副作用が出ることがあって、症状が治まってからも自らを「下僕」とよび、お薬が手放せなくなることがあります。

(ジュンク堂書店 鹿児島店 / 学参・児童書担当 / M.K.)

ザ・ロード

C.マッカーシー / 早川書房

愛とか、絶望とか、ひとが生きていくことのおよそ全てがここにあって思いました。すらすらと読みやすいけれど、この先ずっと心の底に存在し続けるだろう小説でした。

(ジュンク堂書店 吉祥寺店 / 文庫・新書担当 / nn)

幻の女 新訳版

W.アイリッシュ / 早川書房

「夜は若く、彼も若かったが、夜の空気は甘いのに、彼の気分は苦かった。」この一文を美しいと感じたあなたにぜひ読んでほしい。本格ミステリの金字塔であり、読み継がれる永遠の文学作品。

(丸善 名古屋本店 / 雑誌担当 / N.T.)

夏への扉 新版

ロバート・A・ハインライン / 早川書房

夏への扉を探しています。どうかみなさん、主人公のダンと猫のピートと一緒に扉を探すを手伝ってください。きっと扉の先には「失ったものを取り戻せる世界」が見えてくることでしょう。

(magmabooks / 店長 / Y.W.)

ミステリーの書き方

日本推理作家協会 / 幻冬舎

プロがどんなふう to 小説を書いているのか、考えたことはありますか? この本は名だたる作家が創作論や小説のテクニクを惜しげもなく披露している、とんでもない一冊です!これを読めばたちどころに「小説」がわかるかも? 個人的には乙ーさんの章がおすすめです。

(ジュンク堂書店 立川高島屋店 / 実用・雑誌・文具担当 / 伏線回収人)

ハサミ男

殊能 将之 / 講談社

タイトルに騙されてはいけない!この本を手にとった瞬間から物語は始まっています。美少女ばかりを狙う殺人鬼、通称・ハサミ男。犯人は一体何者なのか。そして模倣犯の目的は…。

(戸田書店 高崎店 / 文庫担当 / K.K.)

夏休みの空欄探し

似鳥 鶏 / ポプラ社

ぜひ夏に読んでほしい、ワクワクする謎解き。クイズ、暗号をめぐる男女4人の青春ストーリー。甘酸っぱい恋愛と切ないけど素敵なラストが待っています。この夏あなたの空欄もきっと埋まるはず!

(丸善 名古屋本店 / 文庫担当 / ひまわり)

盤上の向日葵 上

柚月 裕子 / 中央公論新社

将棋の世界と殺人事件、名作ミステリと呼んでも過言ではない。じっくりと事件を紐解く刑事。王手!と叫びたくなる後半の展開は切なさもあいまって心拍数があがります。

(ジュンク堂書店 三宮店 / 文芸担当 / S.H.)

空色勾玉 新装版

荻原 規子 / 徳間書店

中学生の時、図書館で出会いました。出だしの主人公の絶望感とさびしさに引き込まれあつという間に読み終わり何回も読み直したいと単行本で初めて父にお願いをして買ってもらった思い出の書籍です。

(丸善 松本店 / 文庫・新書担当 / E.M.)

ベル・カント

アン・パचेット / 早川書房

季節の終わりと始まり、歌のもたらす力、会話が生まれる瞬間と感情の揺れ、それらが断たれる様。すべての場面でこの世界の豊かさを感じることができる散文で描かれた、21世紀のマスターピース。

(丸善 お茶の水店 / 人文担当 / N.T.)

ずっとお城で暮らしてる

S.ジャクスン / 東京創元社

おすすめの本を訊かれたら必ず挙げる本です。ミステリー好きなら犯人の予測がつくかも知れません。しかし読み進むにつれ、この小説の真価は謎解きだけではないと気がつくでしょう。そして読み終えた後、頭から離れなくなる。「城」とはつまり、読者自身のことでもあるのです。

(ジュンク堂書店 三宮店 / 文芸担当 / TRN143)

何かが道をやってくる 新訳版

レイ・ブラッドベリ / 東京創元社

幻想小説のきらめきに冒険小説のドキドキと、怪奇小説のおどろおどろしさと、おとんがんばれと手に汗握るヒヤヒヤで…読んでいる間ずっと、胸が高鳴らない瞬間がありません。頭がやや固くなりかけた頃、ひたすら楽しいばかりの読書を思い出させてくれた1冊です。

(ジュンク堂書店 吉祥寺店 / 文庫担当 / nn)

まず牛を球とします。

柞刈 湯葉 / 河出書房新社

小川哲さんに解説で「もし小説家が株価なら絶対買う」(意訳)と言わせた著者です。どうです?読みたくなってきたでしょう?第15回「日本タイトルだけ大賞」受賞作です。どうです?ますます読みたくなってきた……勿論中身もしろいろ!これは絶対に「買い」です!

(ジュンク堂書 店三宮店 / 文庫・新書担当 / 文庫へのろく)

ゴリラ裁判の日

須藤 古都離 / 講談社

何にも負けない生命の愛が描かれた最高傑作です。自分 は心の革命がおこりました。ゴリラのローズが抱えていた疑問と憤り、正義は人間が支配している。気持ち悪くモヤモヤしていたものが一瞬にしてクリアになりました。ローズと出会ってください。(ジュンク堂書店 滋賀草津店 / 文芸・文庫・新書担当 / M.Y.)

ノウイトオール あなただけが知っている

森 バジル / 文藝春秋

5つのジャンルの物語からなる連作短編集。どこかでつながりが出てくるはずと予想はしていても散りばめられた仕掛けに何度も驚かされます。「ノウイトオール」=最後まで読んだ人だけがすべてを知っている。ぜひ体験してみてください。

(丸善 スマーク伊勢崎店 / 文芸・文庫担当 / marin)

ケチる貴方

石田 夏穂 / 講談社

テーマが身近だと共感できる反面グサグサ刺さって抜けないことがある。まさにそのタイプの小説だが、それ以上に「読むのが楽しい」と思わせてくる。たぶん文章が抜群に面白いから。石田夏穂さんはでっかい波が来ると思う。いや、ここで起こす!おすすめ!!

(magmabooks / 副店長 / Y.S.)

夜明けのすべて

瀬尾 まいこ / 文藝春秋

「わたしだけしんどい」他者をみてよく感じがちなこの感情ありませんか? この本は、みんなが何かを抱えていて、補い助け合いながら生きている。そんなことを優しく伝えてくれます。読めばきっと周りの人や自分自身にも優しくなれるはず。

(ジュンク堂書店 明石店 / 文芸・文庫担当 / しばづけ)





図書室のはこぶね

名取 佐和子 / 実業之日本社

十年ぶりに返却されたケストナーの『飛ぶ教室』の謎を追う高校生たちの一週間の物語。知らなかった世界に気づく青春群像劇です。作中に登場する本は実在するものばかりで、次に読みたい本に出会える本です。

(ジュンク堂書店 福岡店 / 文庫・新書担当 / N.M.)

この夏のこともどうせ忘れる

深沢 仁 / ポプラ社

高校生二人の夏。大人と子供の狭間で考えて悩んで迷って。ちょっとビターな青春。何気なく過ぎていった日々は、本当は特別な毎日で。二度と戻らない、かけがえのない思い出。キラキラした夏より、きっとこいう眩しく仄暗い夏もいいと思う。

(丸善 名古屋本店 / 文庫担当 / ひま(わり))

神さまたちの遊ぶ庭

宮下 奈都 / 光文社

北海道の大自然に憧れる夫の発案で、とんでもない山奥の村に家族揃って移住することとなった宮下一家の一年を綴ったエッセイは驚きと笑いにあふれている。読んだあなたはきっとトムラウシに住んでみたくなるはずだ。

(丸善ジュンク堂書店 外商部 関西営業所 / 営業担当 / S.I.)

恋文の技術 新版

森見 登美彦 / ポプラ社

この小説は主人公が各登場人物に宛てた手紙のみの一風変わった構成をしています。教え子に見栄を張り、先輩に喧嘩を売り、作中の森見登美彦先生に教えを乞い、なかなか阿呆な手紙の数々ですが、馬鹿らしくも憎めない主人公の魅力が味わる素敵な作品です。

(ジュンク堂書店 大泉学園店 / 文庫・新書担当 / T.N.)

わたしのマトカ

片桐 はいり / 幻冬舎

オーロラのイメージが強かったフィンランド。旅をしたのは夏のヘルシンキ。 街の雰囲気 心地よい空気 何処となく日本人に似ているフィンランド人の人柄。地元の食との出会いが片桐はいりを通すとこんな表現になるのか面白い! 一緒に滞在している気分になれるそんな一冊です。

(ジュンク堂書店 榎原店 / 文具担当 / T.M.)

巴里の空の下オムレツのにおいは流れる

石井 好子 / 河出書房新社

パリでの暮らしと、特別むずかしいことはなさそうなレシピ。でも、だからこそ「これ食べてみたいなあ」になるのです。確実にお腹が空くので、空腹時の読書は要注意ですよ!

(丸善 アスナル金山店 / 店長 / Y.N.)

100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集

福井県立図書館 / 談話社

どこが間違いなのかすぐにはわからないタイトル名もあり、間違い探し感覚で楽しめます。本好きの方は、いくつかわかるかチャレンジしてみてもいかがでしょうか。司書の方の知識量にも驚き、尊敬します。

(丸善 イオンタウン千種店 / 文庫・新書担当 / M.M.)

砂丘律

千種 創一 / 筑摩書房

彼女との日常を描いた瑞々しい日常の日本を描いた前半と、呼吸すら罪深い乾ききった中東への旅を描いた後半との対比におののく。410首の短歌集。掴み取られた事柄は歌人によって磨き抜かれ、読み手の心に響く。日本に住む我々は過去も未来も紛争を糧に生きているのだと気付かされる。

(ジュンク堂書店 芦屋店 / 文芸・文庫・新書担当 / S.Y.)

夏の体温

瀬尾 まいこ / 双葉社

長期入院している小学3年生の瑛介と、検査のために2、3日だけ入院することになった同学年の壮太の出会い。すぐに仲良くなった2人だけど、お別れもすぐにやってきて……。会えなくても「伝える」ことはできると教えてくれるお話です。

(ジュンク堂書店 松山三越店 / 文庫担当 / T.U.)

流浪の月

凧良 ゆう / 東京創元社

いつの時代も他人の憶測や決めつけが無意識に人を傷つける、「事実と真実はちがう」「本当の優しさとはなにか」これは2人の愛の物語。2人がこの先も穏やかに過ごせますように。

(丸善 有明ガーデン店 / 文庫・新書・文芸担当 / O.Y.)

恋の幽霊

町屋 良平 / 朝日新聞出版

「わたしたち4人は、全員が全員をすき。」15年前に高校生だった彼らは恋をしていた。息をもつかせぬ勢いで吐露する4人の心はどこか暴力的で、彼らの心を無防備に浴びてしまえば、読後はこちらまで息苦しい。恋はすてきで、そしてこわい。

(ジュンク堂書店 福岡店 / 文庫・新書担当 / 副店長 / Y.Y.)

石狩少女

森田 たま / 筑摩書房

明治末期の札幌を舞台に文学を愛し空を眺めることが好きな主人公ゆきこの青春と苦悩を描いた自伝的小説。彼女は幼少期に札幌に引っ越して来て、澄み切った空の高さに驚いた。生きづらさを抱えながら生きるゆきこが見上げた空と、同じ空が私の上にも広がっている。

(MARUZEN&ジュンク堂書店 札幌店 / 文芸・文庫担当 / やすこ)

死にたくなったら電話して

李 龍徳 / 河出書房新社

希望と絶望は相反するようで / 視点の違いでしかないのだろうか / 静かにそして強烈に惹かれ合う二人 / 退廃的で破滅的な世界の / 行く末に待つ未来の果てとは——共感と絶望を持ち合わせた李龍徳さんの傑作デビュー小説です。強烈な読後感を求めている人に是非。

(戸田書店 藤枝東店 / 文庫・新書担当 / わんいか)

犬がいるから

村井 理子 / 筑摩書房

犬と一緒に暮らしたこともないのに、人と犬が心を通わせているところを読むとズビズビに泣いてしまいます。「イケワン」な黒ラブのハリーと村井さん一家の暮らしはそのひとコマひとコマがどうしようもなく「尊い」もので、ページをめくるほどズビズビになります。

(ジュンク堂書店 三宮店 / 文庫・新書担当 / 文庫へのろく)

料理の四面体

玉村 豊男 / 中央論新社

世界中を旅した著者が料理の基本構造はこれだ!!!と高らかに宣言。それが四面体! 4つの構成要素から縦横無尽に料理の構造を解きほぐす様に爆笑必至。「それは無理なんではないかい?」という傍若無人な理論にも、なぜか読み終わると「たしかに!」と納得させられてしまう豪快さとおもしろさが最大の魅力。料理を見る目が変わります。

(丸善 八尾アリオ店 / 副店長 / KHS)

アラスカ 風のような物語

星野 道夫 / 小学館

都会の雑踏を自分が歩いているその時に、アラスカで熊が大自然の中を歩いている。そのことを想像できるだけ豊かな気持ちになれる。そんな言葉が著者の言葉にある。本書も、同じじ世界に自分がある場所とは異なる世界がある、ということを豊かな言葉と写真で教えてくれる。

(MARUZEN&ジュンク堂書店 札幌店 / 人文担当 / Y.N.)

発声と身体のレッスン 魅力的な「こえ」と「からだ」を作るために

鴻上 尚史 / 筑摩書房

AIが「それらしい言葉」を一瞬で、しかもとめどなく生成する時代を迎え、我々は一体「何を」語るべきだろうか? ひとつ言えるのは、「誰が」「どのように」語るかという身体性は、人の心を動かす上でこれからも変わらず重要だろうということだ。「こえ」と「からだ」でなにかを伝えたい全ての人へ。

(ジュンク堂書店 立川高島屋店 / 店長 / M)

琥珀の夏

辻村 深月 / 文藝春秋

子供の頃の体験を突然思い出すことってありますよね。大人になった今、冷静に状況を推察するとなんとなく怖くなってきたりする。たらっと冷や汗をかくような「嫌な予感」が充滿しているのに続きが気になって仕方ない。夏の涼しい部屋でぜひ。

(ジュンク堂書店 立川高島屋店 / 文芸・文庫新書担当 / 果物犬)

三つ星の頃

野尻 抱影 / 筑摩書房

「冥王星」の名付け親として知られる野尻抱影は数々のエッセイを遺しました。そんな中の唯一の小説集は、星の光が印象的な表題作を含め、自然を感じることができる1冊です。夏の星空の下で、夜ふかしのおともにおすすめです。

(MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店 / イベント担当 / 五十嵐)

好きになってしまいました。

三浦 しをん / 大和書房

三浦しをん先生が描く何気ない日常に、わかる! という共感と、ごめんそれはわからん! でもめっちゃ愛を感じる! 瞬間が交差し、ページをめくる手が止まらなくなる熱量MAXなエッセイ集。人気作家の方ってどんな華やかな暮らしぶりなのかしら…? と想像した事がある方にぜひ読んでほしい! 想像の斜め上を行く一冊。

(丸善ジュンク堂書店 営業本部 / 仕入販売部 / 甘党。)

熱帯

森見 登美彦 / 文藝春秋

ボルヘスやルシア=マルケスの奇想に翻弄され、打ちのめされた読者諸君。だがしかし、マジックリアリズムはラテンアメリカの専売特許ではない。そう、例えば日本には森見登美彦がいる。東京発、京都経由、『熱帯』。今年の夏は、きつこの"書物"にうってつけの夏だ。

(ジュンク堂書店 立川高島屋店 / 店長 / M)

『罪と罰』を読まない

岸本 佐知子, 三浦 しをん, 吉田 篤弘, 吉田 浩美 / 文藝春秋

本は読む前から始まっているードストエフスキーの名著、『罪と罰』を読んだことがない作家4名が、自身の記憶とあらすじを頼りにストーリーを大胆予想! 既読の方はクスト、未読の方はそんな話なの!? と信じてしまいそうな想像力豊かな作家さんの「読まない読書会」をぜひご堪能あれ!

(丸善 ラゾーナ川崎店 / 実用・ガイド担当 / K.T.)

いちのすけのまくら

春風亭 一之輔 / 朝日新聞出版

人気落語家によるエッセイ集。正直夏はあんまり関係ないのですが、夏休みの最終日に読めばちょっとだけ元気が出そうな「宿題」など、ときどきニヤリとさせられて、思いがけずジーンとくる話がたっぷり!! 長男・祥太郎氏の解説は必読です。

(MARUZEN&ジュンク堂書店 札幌店 / 文芸・文庫担当 / やすこ)

旅ノート 47都道府県 ぜんぶ行ってみよう

旅のお供編集部 / 幻冬舎

スマホひとつで、簡単に記録を残せる時代。だからこそ、紙とペンで実際に書き込むことの価値もまた際立ちます。思いがけない体験をした時、リラックスして思い出を振り返る時……。旅に関わるふとしたシーンに、ぜひこの一冊も加えてもらえるかと嬉しいです。

(丸善 ラゾーナ川崎店 / 実用・地図ガイド担当 / T.O.)

熊吼ゆる山

今野 保 / 山と溪谷社

鹿や猪にはよく出あうが、野生動物との遭遇は怖い。まして熊となると想像するだけで身が凍む。そんな熊との死闘の数々が詳細に、しかし淡々と語られる。淡々と語られるがゆえに、伝わる緊張感と自然描写に思わず引き込まれてしまう。熊との遭遇は本の中だけがいい。

(丸善ジュンク堂書店 関西外商部 / 事務 / M)

数学文章作法 基礎編

結城 浩 / 筑摩書房

記号の使い方だけでなく、分かりやすい文章の書き方について丁寧すぎるくらい丁寧に教えてくれます。何より、本書自体がその教えに則って書かれていることによるエンタメ級の腹落ち感是他ではなかなか得られません。面白くてためになる最高の一冊です。

(ジュンク堂書店 三宮店 / 店長 / O.H.)

本屋をもっとお得に。

丸善ジュンク堂書店
アプリカード特典

アプリならいつでも

2hontoポイント倍

今すぐ無料ダウンロード

MARUZEN JUNKUDO